「駒場スタジアム」ラジオ体操用放送設備の修理・取替え

（メモ）

◎2003 年夏頃から

毎朝のラジオ体操の音がつぶれ、体操ができない状態となった。石山さんのラジカセで体操を続ける。

11 月から 12 月にかけても、調子の良い日が続いたかと思うと、次の日にはダメになるようなことの繰り返しが続いた。

◎2003 年 11 月 16 日

第 30 回役員会にて、小市副会長、藤波事務局、中西事務局の 3 名がスタジアム当局と交渉することを了承した。

◎2003 年 12 月 8 日

駒場スタジアムと実質第 1 回目の話し合い(駒場スタジアム事務所内)

訪問者:小市副会長、藤波事務局、中西事務局

応対者:財団法人さいたま市公園緑地協会　東部管理事務所

駒場運動公園　主査　　松本　純一　氏

内　容:「ラジオ体操会」側

何とか普通に聞こえる状態にしてほしい。直接市当局と交渉してもよいというなら、市の窓口に相談に行きたい。

「スタジアム」側

組織として、このスタジアムは「協会の東部管理事務所が管理しているので。事務所長に伝える」

◎2003 年 12 月 8 日

東部管理事務所の大島所長から小市副会長あてに電話あり。

「施設は市のものであり、協会としては何もできない。ラジカセを持ってくるなどして体操をやってほしい。」

◎2003 年 12 月 9 日

朝の体操後に緊急の臨時役員会(体操広場にて)

- 昨日の様子を役員全員に説明
- さいたま市当局に直接交渉することを確認する。その際には市長宛ての要望書を持参する。なお、市会議員には当面働きかけない(今後の進捗状況により、地元選出の市会議員に介在をいらいする)ことも確認した。

◎同日

駒場スタジアムの管理を担当する市役所の窓口が判明し、12 月 15 日に訪問することを約束した。

窓口:さいたま市南部都市公園管理事務所　管理課　課長　駒井　氏

場所:さいたま市中央区役所内　　TEL:048-840-6179

◎2003 年 12 月 12 日

市役所の南部都市公園管理事務所管理課　荘氏から藤波宛てに電話あり。
「駒場スタジアムに連絡して、専門業者に診てもらうように指示した。それで直ると思うので、15 日には来訪しなくてもいいのではないか。」
藤波
「今後もお世話になると思うので、一度あいさつを兼ねてぜひお邪魔したい」とのやり取りがあり、15 日には予定通り訪問することになった。

◎13 日、14 日とラジオの調子がいいので、業者が修理をしたのかと思われたが、15 日の朝は再びボリュームが小さくなって、殆ど聞き取れない状態となった。

◎2003 年 12 月 15 日

市役所担当者との第 1 回目の話し合い(中央区役所庁舎)
訪問者:小市副会長、藤波事務局、中西事務局
応対者:さいたま市南部都市公園管理事務所　管理課
　　課長　駒井　　担当　荘　　の 2 名
内　容:「ラジオ体操会」側
　　事情を説明し、要望書を渡す。
「市当局」
事情は了解した。機材が老巧化していることが原因と思われるが、専門の電気屋に、診てもらうなど、善処する。

◎同日

駒場スタジアムの松本氏に、駒井課長とのやり取りを説明するため、3 人でスタジアムに異動したところ、駒井課長と荘氏の両名がスタジアム内事務所で放送機材を実地検分していた。ここでも「我々がみたところ、機材は古いが正常に作動しているが、専門の電気屋に診てもらうようにする」と。再度駒井課長から明言があった。

★それ以降、ラジオの調子がいい日が続く。

◎2003 年 12 月 20 日

前日まで調子の良かったスピーカーが突然聞こえなくなった。石山さんのラジカセを借りて体操を行う。
小市副会長がスタジアムに電話連絡。松本氏がお休みのため、代わりの人にその旨を伝える。スタジアム側としては業者に点検を依頼したような趣旨のことを言っていた。

★それ以降、年末から年始にかけて調子のいい日が続く。

◎2004 年 1 月 5 日

駒井課長宛てに、駒場だより 1 月号を同封して、お礼状を送付した(藤波名)。

◎2004 年 1 月 10 日

突然ならない。石山さんのラジカセを借りる。小市さんがスタジアム事務所に連絡。

★それ以降、また調子のいい日が続く。

◎2004 年 5 月

10 日　ラジオのボリュームが小さい。

11 日　昨日と同じ状況なので、小市さんがスタジアムに電話
松本氏は人事異動で替わって、後任は村上氏とのこと。
近所から「朝からラジオがうるさい」と苦情があったので、ボリュームを絞ったということである。

12 日～16 日　何とか体操ができるくらいの状況

17 日　またボリュームが小さく、石山さんのラジカセを借りて体操を行う。

18 日　同じ状態。小市さんがスタジアムに電話。20 日には出勤するというので、あいさつを兼ねて、20 日にスタジアムに行くことを確認した。

19 日　再びラジオのボリュームが小さく、石山さんのラジカセを借りた。

20 日　小市副会長、藤波・中西事務局の 3 名でスタジアム事務所を訪問し、村上氏と面会した。
小市「あまりにラジオの音量が小さく、不自由している。なんとかならないか。」
村上「近所から苦情が 3 件あった。うち 1 件は病人を抱えている人、もう一つは昼と夜の生活が逆の人からである。しかし皆さんの事情もわかるので、少しだけ音量を絞った。殆ど聞こえなくなるくらいになっているとは思わなかった。しばらく様子を見させてほしい。」

21 日以降　ボリュームの小さい日もあったが、我慢の範囲内なので推移を見守ることとした。

◎2004 年 6 月

7 日　雨のためスタジアムの軒下で体操をしたが、スピーカーの真下の軒下でも聞こえないほどのボリュームになってしまった。小市さんがスタジアムに電話
村上氏「また苦情がきたのでボリュームを下げた。聞こえないというのなら少しボリュームを上げるから様子を見てほしい」

8 日　全員で体操ができる程度のボリュームに戻っていた。

この日以降、調子が良かったり、そうでなかったりした。調子が悪い日には小市さんがスタジアムの村上さんに電話して、善処を求めた。

◎2004 年 7 月

今月に入っても調子の悪い日が続いた。その都度石山さんのラジカセをかりて体操をする状態であった。

◎2004 年 7 月 14 日

このところ数日ラジオが聞こえない(電源は ON になっているが、ボリュームが小さく、聞こえないという状況)ので、村上さんに小市さんから電話連絡。
村上氏「事務所としてはこれ以上やりようがない。さいたま市当局に連絡してほしい。」

◎2004 年 7 月 15 日

小市副会長、藤波・中西事務局の 3 名で相談し、再度「さいたま市南部都市公園管理事務所」に行くことを確認し、斉藤会長に了承を得た。
同日、同事務所の駒井課長に電話して、7 月 20 日(火)午前 10 時にアポイントをとった。

◎2004 年 7 月 20 日

訪問者:小市副会長、藤波事務局、中西事務局

応対者:さいたま市南部都市公園管理事務所　管理課

課長　駒井　　担当　荘　　の 2 名

内　容:「ラジオ体操会」側

事情を説明し、要望書を渡す。

「市当局」

突然聞こえなくなったり、また良くなったりすることもあるようで、原因は良く分からないが、みなさんの気持ちの良く分かるので善処する。

★この日以降、また調子がいい日が続いた(根本的な修理を行ったのかどうかは不明)。

◎2005 年 5 月

連休明け頃からまたラジオが入らない状態となる。

その都度、小市さんがスタジアム事務所に電話して、直してくれるように依頼する。

20 日頃から	タイマーは作動して電源は ON になるが、音量が小さくて、スピーカーの真下で、耳を澄ませなければ聞こえない状態となる。 石山さんのラジカセがないと体操ができない。
26 日	NHKの「首都圏ネットワーク “元気一番”」の収録に、さいたま放送局が収録に来たが、この日はなんと元に戻って久しぶりにスピーカから流れる音楽で体操を楽しむ。
27 日	今日も調子がいい。このまま直ってくれればいいがと思っていたら。
28 日	再び、元に戻って聞こえなくなった。 斉藤会長とも相談して、また市の窓口(市南部都市公園管理事務所)に、善処方を要望することを決めた。
30 日	藤波事務局が市南部都市公園管理事務所に電話。駒井課長、荘氏もこの 4 月の異動で替っていた。駒井課長の後任は宮崎課長(荘氏の後任は不明) 宮崎課長に電話で、過去の経緯も簡単に説明し、善処方を要請した。
31 日	やはり直っていないので、再び藤波事務局が宮崎課長にその旨電話。 日中、同課長が駒場スタジアムに来て点検をしたようで、もう大丈夫と思うとスタジアムから藤波事務局あてに電話が入る。
6 月 1 日	やはり直っていない。藤波事務局が三度宮崎課長に電話して、専門家に診てもらうように強く要請した。
2 日	専門家が直したのか、見事な音量で音楽が流れた。(皆、大喜びした)
3 日	喜びも 1 日だけ。今日またダメになってしまった。会長の了承を取って、6 月 6 日(月)に宮崎課長を訪ねて、直接要請することとした。 藤波事務局が同日電話をして、6 日の午前 10 時に宮崎課長のアポイントを採った。
4 日～6 日	ダメな状態が続く
6 日	さいたま市南部都市公園管理事務所を訪問 訪問者:小市副会長、中西事務局、大浜会計(大浜さんの奥さんが運転) 応対者:さいたま市南部都市公園管理事務所　管理課 課長　宮崎氏　　関氏　　の 2 名

内　容:「ラジオ体操会」側

事情を説明し、要望書を渡す。

要望書の内容は、過去の 2 回と変えて「老朽化している放送設備機材新しく付け替えてほしい」と、“修理”から“付け替え”に変えた内容にした。

「宮崎課長」側

付け替えの予算措置はむずかしい。10 月頃から来年度の予算編成作業にかかるが、仮に認められても実行されるのは来年の 4 月以降となる。電気の専門家に当方の責任で診てもらってもいいかとの質問には明言を避けた。

7 日　小市さんから宮崎課長に電話。昨日回答を得られなった「当方の責任で専門家に見せる」ことに関して了承を取る。

8 日　小市さんと中西さんで連絡を取り合って、中西さんの知人で電気技術師(富岡氏)の都合が 10 日(金)午前 10 時がいいとなったことから、スタジアムの村上さんに連絡し、スタジアムの了承を取り付けた。またこの点を小市さんから市南部都市公園管理事務所の宮崎課長にも伝え、市当局にも連絡を怠らないようにした。

この間も毎朝のスピーカーの状態は音量が極小の状態が続く。

10 日　富岡氏が放送設備の点検・修理を行う。小市さん、中西さん、大浜さんが立会う。

11～12 日　今まで入っていたタイマーも作動しなくなってしまった。

12 日　再度、富岡氏に修理を依頼し、小市さんがスタジアムの了解もとりつける。

13 時に富岡氏が点検。小市さん、中西さん、藤波さんが立ち会う。

10 日の点検の際に、タイマーの設定を誤ったようだ。再度確認して今日の修理を終わる。

13 日　朝、6 時 25 分に正常の状態でスピーカーから NHK の放送が流れ、ラジオ体操も久しぶりにスピーカーから流れる放送で行えた。

体操をやらない富岡氏も心配で様子を見に来てくれた。このままの状態が続けばいいのだが。

★この日以降、また調子がいい日が続いた。(どうやら富岡氏の修理で直ったようだ)

18 日　修理してくれた富岡氏にお礼(ビール券 5 枚　大ビン 10 本分)を渡す(中西さんから)

7 月 31 日　第 37 回役員会(場所:前地「寿司文」)にて、下記を決定

1) 平成 18 年度のさいたま市の予算で、新しいアンプへの交換と、メーンスタンドのサブグランド側にもう 1 台のスピーカー新設をもとめて、予算化を目指す
2) そのために、8 月末を目途に参加者の署名集めを行う
3) 9 月には市役所当局に要望書を提出する(要望書、署名、体操の写真)
4) 市役所への働きかけ方などを、元市会議員の小松豊吉氏に相談する
5) 9 月上旬に日程を調整して、役員会を開催し小松氏の同席を求める

8 月 2 日　署名活動を開始

8 月 5 日　　小松豊吉氏と第 1 回目の打ち合わせ
時間:ラジオ体操終了後
場所:スタジアム広場
出席:小松氏(同行者 1 名)と役員
内容:①体操会側から状況説明
②小松氏氏から協力を約束
・有力な助役がいるから、その助役に直接要望する
（署名などを添付して）
・要望書を持っていくのは、8 月 20 日から 25 日の間
（小松氏が助役のアポイントを取る）
・要望書の原案は事務局で作成
・市の公共施設の維持管理を、民間の NPO 法人などに委託する動きがある(本件とはあまり関係のない話のように思える)
・小松氏の著書「私のマニフェスト　有言実行の政治」を数冊寄贈
備考:この時点で、署名はすでに 22 枚(330 名)に達していた。

8 月 16 日　　市会議員原田健太氏が突然体操時に来て、事情を聞いて帰った。
(領家・皇山方面の会員に署名活動を行っていることを聞いたようだ)

8 月 17 日　　小松豊吉氏と第 2 回目の打ち合わせ
時間:11:00～12:30
場所:小松豊吉事務所(岸町)
出席:小松氏・秘書水野氏　　斉藤会長・小市副会長
内容:①提出書類のチェック
②陳情日は 8 月 30 日(火) 11:00　市役所　面会者？
その他:20 日朝の夏休み記念品配布時に、小松氏も一緒に配布し、その様子をテレビ埼玉で放映する(9 月 26 日(月)午前 10 時 30 分頃)
備考:この時点で、署名はすでに 46 枚(690 名)に達していた。

8 月 19 日　　さいたま市南部都市公園管理事務所　管理課宮崎課長から藤波事務局宅に電話があり。
「原田健太市会議員から、『設備を来年度予算で新しいものに取り替えるように』との連絡があった。どうなっているのか？」
現在は調子がいいが、また何時調子が悪くなるかわからないので、調子のいい今のうちに運動を起こして、来年度予算で付け替えしていただこうと、現在署名活動を展開している。近いうちに陳情書を提出する。

8 月 20 日　　日本郵政公社からの記念品(ひも付きビニール袋　300 個)配布
その様子を小松豊吉氏がビデオカメラに収録に来る。その際、小松氏と書類ならびに 30 日に予定の陳情活動の打ち合わせを行う。(前日の宮崎課長との電話のやり取りの内容も説明)

8 月 30 日　　陳情活動の実施(場所：市役所　　時間：11:00～12:30)
陳情者：斉藤会長、小市副会長、藤波事務局
同行者：小松豊吉氏、秘書水野氏

署名者：741 名

①市議会議長鶴崎敏康氏宛ての陳情書を市議会事務局に提出
面会者：市議会事務局長　村岡　正　氏　同席者：総括参事 1 名

②市長相川宗一氏宛ての要望書を提出
面会者：筆頭助役　岩木　浩氏(藤波事務局の高校時代の同級生)
面会者：担当助役　護(もり)雅行氏(国土交通省からの出向者)

9 月 1 日　さいたま市助役岩木浩氏あてにお礼状送付(藤波名　駒場だよ 9 月号同封)
さいたま市南部都市公園管理事務所管理課宮崎課長あてに、8 月 30 日に陳情活動を実施した旨の書状送付(藤波名　駒場だより 9 月号同封)

9 月 3 日　斉藤会長から次のとおり報告あり(体操後に役員召集)
・昨日小松氏から電話があった。小松氏の電話内容は次の通り
・9 月 7 日に、市議会の 9 月定例議会が開会する
・議会の初日に、陳情案件が確認される
・都合のつく者はなるべく大勢で市議会を傍聴するように
・参加できる者は、当日 9 時 30 分に市役所玄関に集合のこと

9 月 7 日　市議会傍聴
時　間：10：00～
場　所：市議会議場
参加者：斉藤会長、小市副会長、元井副会長、大浜会計、石山(十)監事
重田幹事、松園幹事、大浜会員(以上 8 名)
同行者：小松豊吉氏、同秘書水野氏
内　容：市議会議場の傍聴席にて、市議会初日の様子を傍聴した。
配布資料に、6 月市議会閉会後に受理した陳情案件一覧があり、その中に本会の陳情案件を確認した(資料一式保存)
備　考：市当局によるヒアリングの日程、本案件の審議日程などは不明

11 月 13 日　第 12 回「秋の懇親の集い」(場所：寿司文)において、ゲストとして招待した小松豊吉氏から、「11 月 18 日までには機械の交換が実現することになった」と報告された

11 月 18 日　藤波がさいたま市南部都市公園管理事務所管理課関主任に電話で以下を確認
1) アンプとタイマーは既に交換済み。管理課も11 月 16 日に施行完了検査を実施し、工事終了を確認した。
2) スピーカーの増設については、近隣住民からの苦情等もあるので、今後の課題とする。

11 月 19 日　18 日の電話の確認事項を文書にまとめ、役員全員に報告し了承を得た。なお、会員には駒場だより 12 月 1 日号で報告する予定。

11 月 24 日　市の岩木助役宛て、南部都市公園管理事務所管理課宮崎課長宛てに、藤波名のお礼状を発信
(アンプとタイマーの交換についてはお礼、スピーカーの 1 機増設を引き続き要望)

12 月 2 日　南部都市公園管理事務所管理課宮崎課長から藤波宛てに電話
宮崎「スピーカー1 機増設することになった。ただ現場を詳細に調査したりしなければならず、時間がかる。」
藤波「アンプ・タイマーの交換を実現してもらって、皆感謝している。スピーカーの件で現場の調査に我々が立ち合うなどの必要があれば、連絡して欲しい。出来るだけの協力はするつもり」

以上の内容を小市副会長に、同日に電話で伝える。

◎2006 年
1 月 21 日　第 38 回役員会
南部都市公園管理事務所管理課宮崎課長に、スピーカー増設に関してその後の状況を聞くことを確認

2 月 1 日　藤波が南部都市公園管理事務所管理課宮崎課長に電話
「予算の状況によって、年度内にでも実施することもあるし、新年度になってからになることもある」との返事。

3 月 28 日　朝の体操時に、スピーカーが 2 番ゲート上に 1 基増設されていることを確認

3 月 31 日　藤波が南部都市公園管理事務所管理課宮崎課長にお礼の電話
増設位置が、考えていたよりも中央寄り(要望は 1 番ゲート上)、スピーカーの向きを変えることは出来ないかと要請した。

4 月 11 日　2 番ゲート上に増設されたスピーカーの向きが、駐車場側に変わっていた。3 月 31 日の要望を聞き入れてくれた。